

平成24年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査 調査結果の概要2（公立学校分）

目次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校）	・・・8
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・16
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・25
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・34
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・38
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・39
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・40

* 中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む

平成25年12月

神奈川県教育委員会

1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

(1-1)暴力行為の発生状況

ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数(校)	学校内				学校外				計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)
小学校	860	272	31.6	1,475	1,114	82	9.5	154	203	1,629	1,317
中学校	417	350	83.9	3,805	2,969	156	37.4	313	376	4,118	3,345
高等学校	160	122	76.3	483	616	26	16.3	39	81	522	697
計	1,437	744	51.8	5,763	4,699	264	18.4	506	660	6,269	5,359

イ 対教師暴力

区分	学校総数(校)	学校内						学校外						計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害教師数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害教師数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	860	93	10.8	245	27	144	168	2	0.2	2	2	2	2	247	29
中学校	417	184	44.1	544	158	455	476	4	1.0	4	2	11	5	548	160
高等学校	160	27	16.9	36	2	39	36	3	1.9	3	0	6	4	39	2
計	1,437	304	21.2	825	187	638	680	9	0.6	9	4	19	11	834	191

ウ 生徒間暴力

区分	学校総数(校)	学校内						学校外						計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害児童・生徒数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害児童・生徒数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	860	210	24.4	936	138	792	897	80	9.3	148	21	206	164	1,084	159
中学校	417	343	82.3	2,275	498	2,337	2,218	138	33.1	262	83	358	284	2,537	581
高等学校	160	105	65.6	262	29	369	258	19	11.9	26	14	62	30	288	43
計	1,437	658	45.8	3,473	665	3,498	3,373	237	16.5	436	118	626	478	3,909	783

エ 対人暴力

区分	学校総数(校)	学校内						学校外						計	
		発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害者数(人)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・生徒数(人)	被害者数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	860	2	0.2	3	2	4	3	4	0.5	4	0	4	4	7	2
中学校	417	13	3.1	20	4	17	15	38	9.1	47	17	60	50	67	21
高等学校	160	2	1.3	4	2	4	4	8	5.0	10	7	13	10	14	9
計	1,437	17	1.2	27	8	25	22	50	3.5	61	24	77	64	88	32

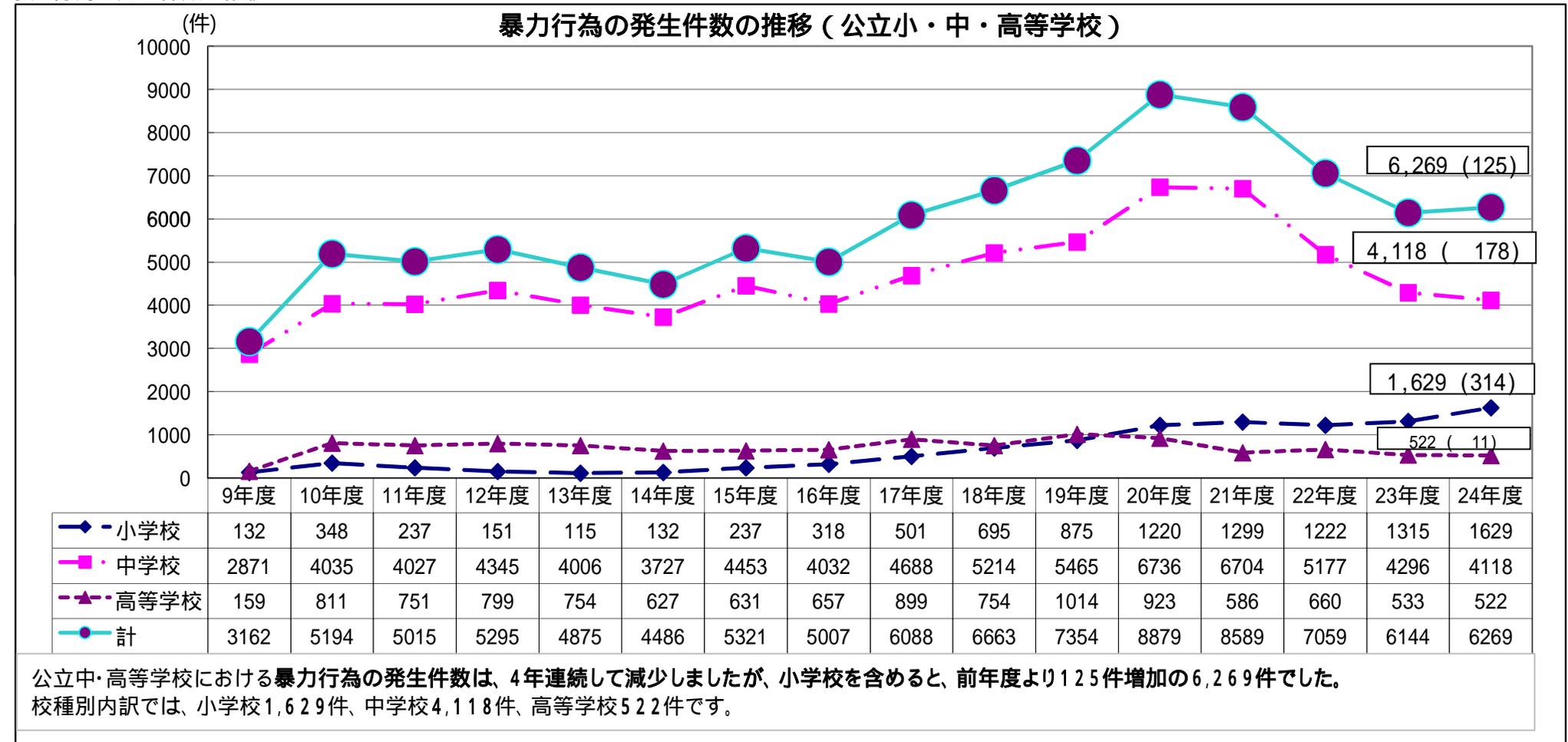
オ 器物損壊

区分	学校総数(校)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)
小学校	860	136	15.8	291	361
中学校	417	220	52.8	966	881
高等学校	160	69	43.1	181	230
計	1,437	425	29.6	1,438	1,472

ア～オともに

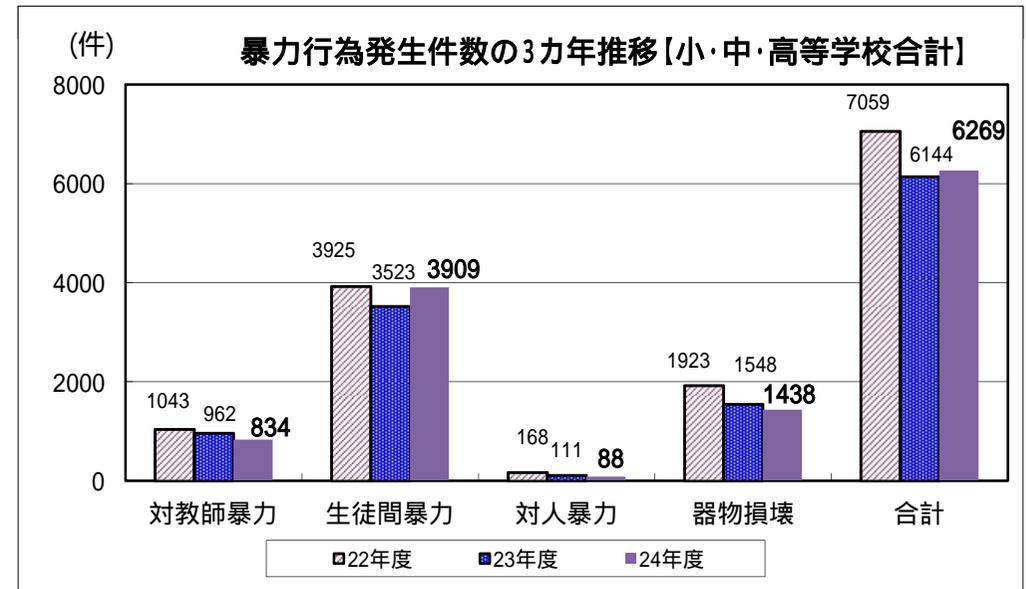
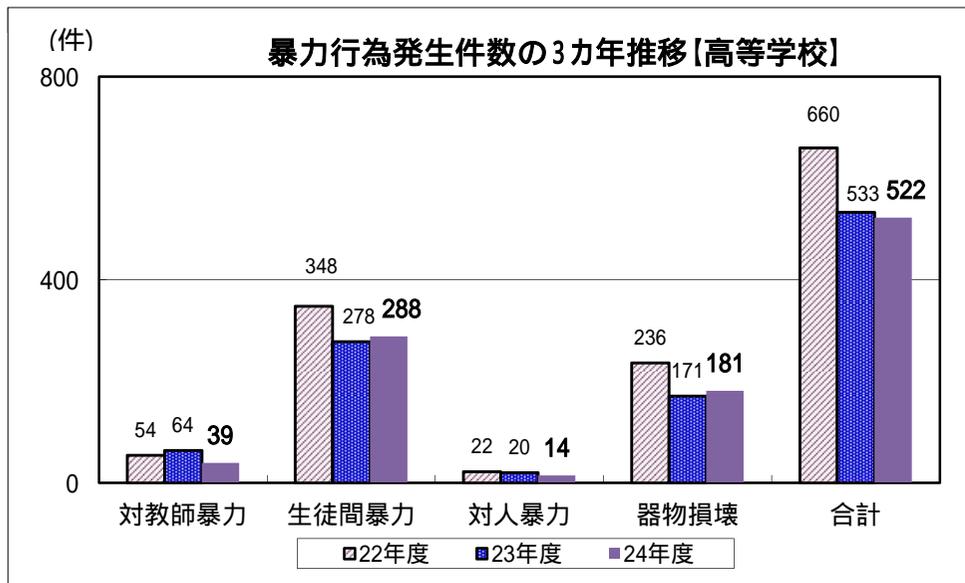
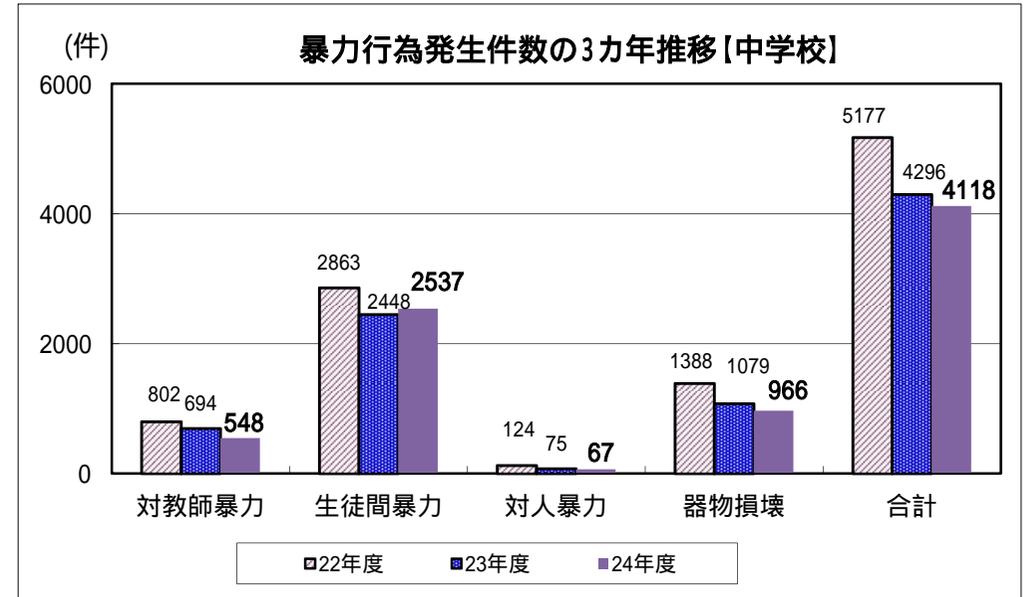
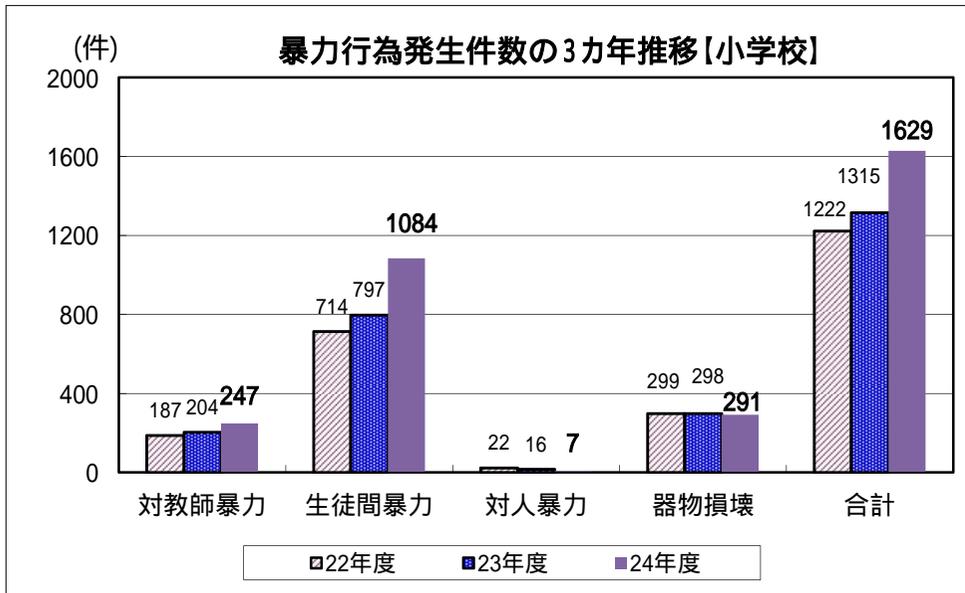
- (注1)学校総数は、平成24年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。
- (注2)発生学校数は、のべ数。発生件数のうち 病院の欄は、調査時点で学校が把握している情報に基づき、当該暴力行為により被害者が病院で治療した件数を、発生件数の内数として計上。
- (注3)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注4)「合計」欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注5)「合計」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童・生徒が複数の形態の加害児童・生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数の数値と一致しない。

(参考1)
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別・男女別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
男子	76	134	166	229	333	472	1,410	1,121	1,430	1,302	3,853	362	196	91	649	5,912
女子	10	22	12	9	24	26	103	51	109	106	266	33	28	13	74	443
計	86	156	178	238	357	498	1,513	1,172	1,539	1,408	4,119	395	224	104	723	6,355

(注)人数は、(1-1)暴力行為の発生状況の「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」に計上された加害児童・生徒数の数値を合計したものと一致している。

(1-3) 加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学						停学			出席停止			自宅学習 自宅謹慎等			訓告			計		
	懲戒退学			その他			学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	学校		小計	学校		小計	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
	内	外		内	外				内			外			内			外			内
小学校	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	1	0	1	1	0	1
中学校	-	-	-	1	0	1	-	-	-	0	0	0	-	-	-	31	14	45	32	14	46
高等学校	0	0	0	14	14	28	1	0	1	-	-	-	495	33	528	0	0	0	510	47	557

(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申し出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4) 加害児童・生徒に対する関係機関の措置別人数

区分	警察の補導			家庭裁判所の 保護的措置			少年刑務所			少年院			保護観察			児童自立支援 施設			児童相談所			計		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1	3	4	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	2	0	2	12	0	12	15	3	18
中学校	65	39	104	47	19	66	-	-	-	6	8	14	38	27	65	6	2	8	33	13	46	195	108	303
高等学校	0	1	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	1	11	12

(注1)最終的な措置が確定している場合は該当する措置、最終的な措置が確定していない場合は年度末現在の状況を計上。

(注2)「家庭裁判所の保護的措置」には、審判不開始、不処分のほか、調査中、審判中のものが含まれる。

(1-5)加害児童・生徒に対する学校の対応

ア 指導した者

区分	学級担任や他の教職員が指導			養護教諭が指導			校長、教頭が指導			スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			その他の者が指導		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1,235	203	1,438	251	15	266	512	43	555	78	9	87	42	14	56
中学校	3,561	413	3,974	177	12	189	698	67	765	78	10	88	101	33	134
高等学校	608	52	660	40	3	43	560	42	602	43	3	46	3	0	3
計	5,404	668	6,072	468	30	498	1,770	152	1,922	199	22	221	146	47	193

イ 連携した機関等

区分	警察等の刑事司法機関等と連携した対応			児童相談所等の福祉機関等と連携した対応			病院等の医療機関等と連携した対応			その他の専門的な関係機関等と連携した対応			地域の人材や団体等と連携した対応		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	23	9	32	41	6	47	46	3	49	78	5	83	8	11	19
中学校	275	132	407	106	25	131	119	10	129	101	13	114	9	15	24
高等学校	17	6	23	1	0	1	4	2	6	8	2	10	2	0	2
計	315	147	462	148	31	179	169	15	184	187	20	207	19	26	45

ウ 指導等の内容

区分	被害者等(被害者の関係者を含む)に対する謝罪指導			友人関係を改善するための指導			ルールの徹底や規範意識を醸成するための指導			個別に学習支援			当該児童・生徒が意欲を持って活動できる場を用意		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	867	167	1,034	606	89	695	993	145	1,138	145	9	154	241	16	257
中学校	2,913	327	3,240	1,664	195	1,859	2,643	286	2,929	127	17	144	269	36	305
高等学校	391	41	432	356	32	388	577	47	624	298	25	323	97	12	109
計	4,171	535	4,706	2,626	316	2,942	4,213	478	4,691	570	51	621	607	64	671

区分	教職員との関係改善			保護者の協力を求めて、家族関係等の改善・調整			その他		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外	
小学校	146	4	150	512	59	571	21	5	26
中学校	448	26	474	1,373	180	1,553	30	4	34
高等学校	113	15	128	213	22	235	8	7	15
計	707	45	752	2,098	261	2,359	59	16	75

ア、イ、ウともに
 (注1)複数選択を可とする。
 (注2)「連携した機関等」には、当該機関の関係団体や関係者を含む。
 なお、「警察等の刑事司法機関等と連携した対応」には「サポートチーム」の取組などを含む。

(1-6)暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

		小学校	中学校
該当児童・生徒数		46	53
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数		357	376
内訳	対教師暴力	107	113
	生徒間暴力	218	176
	対人暴力	5	5
	器物損壊	27	82
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合		3.5	1.6
(再掲)各区分における加害児童・生徒数		1,317	3,345
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合		21.9	9.1
(再掲)暴力行為発生件数		1,629	4,118

(参考)

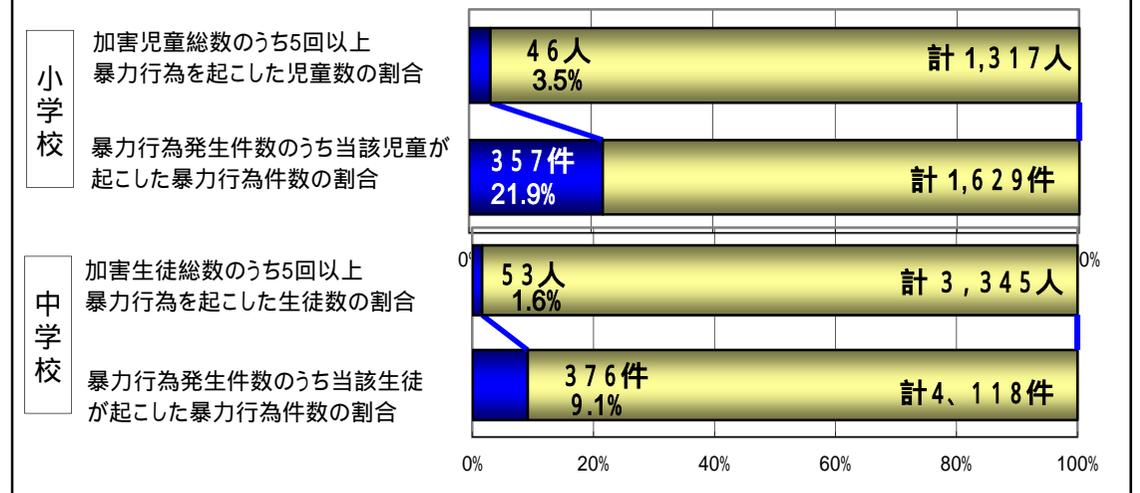
【小学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	1	1	5	0	6	0	5	0	12	0	16	0	45	1	46	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	5	7	43	0	43	0	32	0	80	0	147	0	350	7	357	
内訳	対教師暴力	0	2	5	0	13	0	12	0	20	0	55	0	105	2	107
	生徒間暴力	5	5	35	0	27	0	19	0	53	0	74	0	213	5	218
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	5	0	5
	器物損壊	0	0	3	0	3	0	1	0	5	0	15	0	27	0	27

【中学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	9	0	26	2	15	1	50	3	53	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	64	0	193	12	101	6	358	18	376	
内訳	対教師暴力	14	0	45	6	42	6	101	12	113
	生徒間暴力	43	0	82	6	45	0	170	6	176
	対人暴力	1	0	4	0	0	0	5	0	5
	器物損壊	6	0	62	0	14	0	82	0	82

暴力行為を5回以上繰り返す児童・生徒の状況



イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	本人に粗暴的な性格が見受けられる	35	76.1	50	94.3	85	85.9
	本人の規範意識が低いと思われる	35	76.1	42	79.2	77	77.8
家庭の問題	養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	12	26.1	9	17.0	21	21.2
	ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	12	26.1	3	5.7	15	15.2
	家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	28	60.9	26	49.1	54	54.5
学校の問題	友達との人間関係をうまく構築できない	35	76.1	26	49.1	61	61.6
	教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	14	30.4	19	35.8	33	33.3
	校内での非行グループ化が背景にある	2	4.3	21	39.6	23	23.2
	卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	3	6.5	22	41.5	25	25.3
	授業を理解できないことが原因と思われる	16	34.8	31	58.5	47	47.5
その他	その他	12	26.1	14	26.4	26	26.3

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	46	中学校	53	合計	99
----------	-----	----	-----	----	----	----

2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校】

(2-1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	860	637	74.1	3,908	4.5	223	25.9
中学校	417	374	89.7	2,729	6.5	43	10.3
高等学校	185	99	53.5	252	1.4	86	46.5
特別支援学校	44	16	36.4	36	0.8	28	63.6
計	1,506	1,126	74.8	6,925	4.6	380	25.2

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとする。「いじめ」とは、「当該児童・生徒が一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校内を問わない。「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められるものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては早期に警察に相談・通報のうえ、警察と連携した対応をとることが必要である。

(注2)学校総数は、高等学校の全定併置校を全日制、定時制をそれぞれ1校(計2校)として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

(2-2)いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
男子	212	264	340	464	535	552	2,367	689	543	329	1,561	101	48	22	171
女子	93	151	247	284	376	390	1,541	509	453	206	1,168	40	28	13	81
計	305	415	587	748	911	942	3,908	1,198	996	535	2,729	141	76	35	252

区分	特別支援学校															合計	
	小学部							中学部				高等部					計
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
男子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4	6	10	5	21	25	4,124
女子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	4	4	10	11	2,801
計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	5	8	14	9	31	36	6,925

(2-3)警察に相談・通報した校数・件数

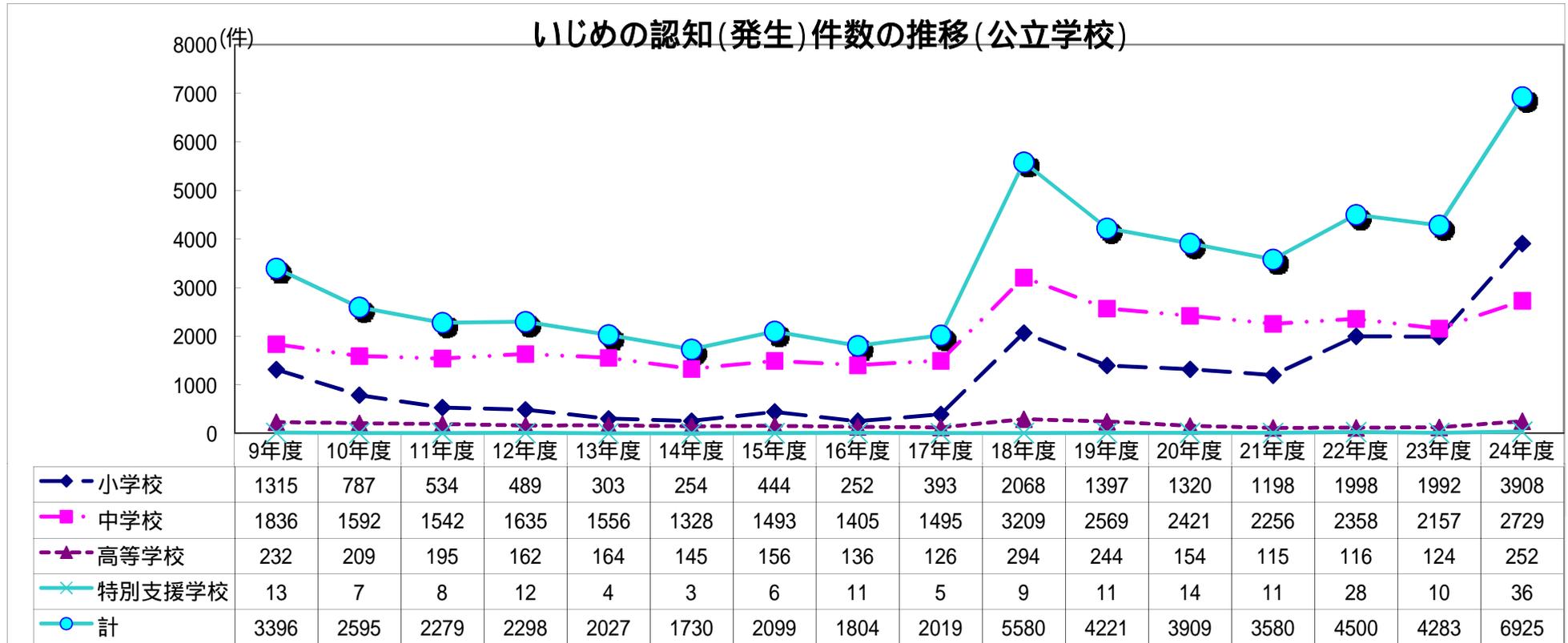
区分	いじめを認知した学校数			いじめの認知件数		
	(単位:校)	うち、警察に相談・通報した学校数 (単位:校)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:%)	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:件)
小学校	637	14	2.2	3,908	17	0.4
中学校	374	37	9.9	2,729	51	1.9
高等学校	99	1	1.0	252	1	0.4
特別支援学校	16	2	12.5	36	7	19.4
計	1,126	54	4.8	6,925	76	1.1

(注1)「うち、警察に相談・通報した学校数(単位:校)」は、平成24年度間において、1件以上のいじめについて警察に相談・通報した場合1校とする。

(注2)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

(参考)

いじめの認知(発生)件数の推移



(2-4)いじめの現在の状況

区分	解消しているもの		一定の解消関係が図られたが、継続支援中		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	2,821	72.2	902	23.1	157	4.0	28	0.7	3,908	100
中学校	2,139	78.4	509	18.7	68	2.5	13	0.5	2,729	100
高等学校	232	92.1	15	6.0	1	0.4	4	1.6	252	100
特別支援学校	21	58.3	14	38.9	1	2.8	0	0.0	36	100
計	5,213	75.3	1,440	20.8	227	3.3	45	0.6	6,925	100

(2-5) いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	1,842	47.1	1,121	41.1	149	59.1	15	41.7	3,127	45.2
学級担任が発見	1,368	35.0	616	22.6	41	16.3	13	36.1	2,038	29.4
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	71	1.8	235	8.6	22	8.7	1	2.8	329	4.8
養護教諭が発見	16	0.4	25	0.9	2	0.8	1	2.8	44	0.6
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	10	0.3	10	0.4	0	0.0	0	0.0	20	0.3
アンケート調査など学校の取組により発見	377	9.6	235	8.6	84	33.3	0	0.0	696	10.1
学校の教職員等以外からの情報により発見	2,066	52.9	1,608	58.9	103	40.9	21	58.3	3,798	54.8
本人からの訴え	890	22.8	899	32.9	70	27.8	10	27.8	1,869	27.0
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	839	21.5	473	17.3	17	6.7	6	16.7	1,335	19.3
児童・生徒(本人を除く)からの情報	165	4.2	138	5.1	15	6.0	3	8.3	321	4.6
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	146	3.7	75	2.7	1	0.4	2	5.6	224	3.2
地域住民からの情報	17	0.4	14	0.5	0	0.0	0	0.0	31	0.4
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	7	0.2	7	0.3	0	0.0	0	0.0	14	0.2
その他(匿名による投書など)	2	0.1	2	0.1	0	0.0	0	0.0	4	0.1
計	3,908	100	2,729	100	252	100	36	100	6,925	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-6) いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	2,852	73.0	1,876	68.7	139	55.2	20	55.6	4,887	70.6
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	492	12.6	704	25.8	48	19.0	6	16.7	1,250	18.1
養護教諭に相談	185	4.7	231	8.5	18	7.1	3	8.3	437	6.3
スクールカウンセラー等の相談員に相談	173	4.4	156	5.7	16	6.3	0	0.0	345	5.0
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	51	1.3	44	1.6	5	2.0	0	0.0	100	1.4
保護者や家族等に相談	1,271	32.5	780	28.6	33	13.1	9	25.0	2,093	30.2
友人に相談	137	3.5	191	7.0	27	10.7	1	2.8	356	5.1
その他(地域の人など)	28	0.7	17	0.6	0	0.0	0	0.0	45	0.6
誰にも相談していない	189	4.8	105	3.8	75	29.8	6	16.7	375	5.4
いじめの認知件数	3,908		2,729		252		36		6,925	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-7)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	2,609	66.8	1,686	61.8	128	50.8	26	72.2	4,449	64.2
仲間はずれ、集団による無視をされる	709	18.1	427	15.6	31	12.3	3	8.3	1,170	16.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	864	22.1	432	15.8	33	13.1	14	38.9	1,343	19.4
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	190	4.9	164	6.0	17	6.7	6	16.7	377	5.4
金品をたかられる	40	1.0	47	1.7	10	4.0	4	11.1	101	1.5
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	263	6.7	187	6.9	13	5.2	4	11.1	467	6.7
嫌なことや恥づかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	207	5.3	168	6.2	18	7.1	2	5.6	395	5.7
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	65	1.7	189	6.9	66	26.2	4	11.1	324	4.7
その他	159	4.1	73	2.7	22	8.7	0	0.0	254	3.7
いじめの認知件数	3,908		2,729		252		36		6,925	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめる児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
学級担任や他の教職員が状況を聞く	3,488	89.3	2,400	87.9	198	78.6	24	66.7	6,110	88.2	
養護教諭が状況を聞く	216	5.5	83	3.0	12	4.8	2	5.6	313	4.5	
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	131	3.4	64	2.3	5	2.0	0	0.0	200	2.9	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	107	2.7	54	2.0	6	2.4	0	0.0	167	2.4	
学級担任や他の教職員が指導	2,927	74.9	2,202	80.7	160	63.5	23	63.9	5,312	76.7	
養護教諭が指導	143	3.7	31	1.1	4	1.6	2	5.6	180	2.6	
校長、教頭が指導	435	11.1	114	4.2	91	36.1	9	25.0	649	9.4	
別室指導	432	11.1	326	11.9	88	34.9	7	19.4	853	12.3	
グループ替えや席替え、学級替え等	693	17.7	152	5.6	12	4.8	1	2.8	858	12.4	
退学 懲戒処分としての退学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学 その他	0	0.0	5	0.2	5	2.0	0	0.0	10	0.1	
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	54	21.4	3	8.3	57	0.8	
訓告	2	0.1	12	0.4	2	0.8	0	0.0	16	0.2	
保護者への報告	2,056	52.6	1,878	68.8	113	44.8	19	52.8	4,066	58.7	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	1,730	44.3	1,380	50.6	86	34.1	15	41.7	3,211	46.4	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	19	0.5	59	2.2	0	0.0	2	5.6	80	1.2
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	13	0.3	25	0.9	2	0.8	0	0.0	40	0.6
	ウ 病院等の医療機関等との連携	7	0.2	11	0.4	0	0.0	0	0.0	18	0.3
	エ その他の専門的な関係機関との連携	28	0.7	9	0.3	4	1.6	0	0.0	41	0.6
	オ 地域の人材や団体等との連携	5	0.1	3	0.1	0	0.0	0	0.0	8	0.1
その他	17	0.4	8	0.3	25	9.9	2	5.6	52	0.8	
いじめの認知件数	3,908		2,729		252		36		6,925		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)いじめられた児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	3,643	93.2	2,542	93.1	234	92.9	35	97.2	6,454	93.2
養護教諭が状況を聞く	397	10.2	278	10.2	38	15.1	4	11.1	717	10.4
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	224	5.7	214	7.8	33	13.1	1	2.8	472	6.8
学級担任や他の教職員が継続的にケアを行う	1,861	47.6	1,666	61.0	131	52.0	21	58.3	3,679	53.1
養護教諭が継続的に面談しケアを行う	238	6.1	148	5.4	21	8.3	3	8.3	410	5.9
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行う	110	2.8	172	6.3	22	8.7	1	2.8	305	4.4
別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	187	4.8	186	6.8	21	8.3	4	11.1	398	5.7
緊急避難としての欠席	55	1.4	39	1.4	17	6.7	0	0.0	111	1.6
他の児童・生徒に対し、助力・支援を個別に依頼	458	11.7	345	12.6	16	6.3	1	2.8	820	11.8
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	340	8.7	728	26.7	19	7.5	1	2.8	1,088	15.7
グループ替えや席替え、学級替え等	867	22.2	224	8.2	16	6.3	0	0.0	1,107	16.0
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	84	2.1	77	2.8	4	1.6	2	5.6	167	2.4
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	28	0.7	25	0.9	5	2.0	0	0.0	58	0.8
その他	35	0.9	12	0.4	5	2.0	0	0.0	52	0.8
いじめの認知件数	3,908		2,729		252		36		6,925	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	826	96.0	394	94.5	152	82.2	31	70.5	1,403	93.2
いじめ問題に関する校内研修を実施した。	522	60.7	235	56.4	89	48.1	17	38.6	863	57.3
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	781	90.8	374	89.7	86	46.5	24	54.5	1,265	84.0
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	466	54.2	270	64.7	51	27.6	16	36.4	803	53.3
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	559	65.0	314	75.3	123	66.5	9	20.5	1,005	66.7
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	601	69.9	318	76.3	123	66.5	12	27.3	1,054	70.0
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	398	46.3	198	47.5	55	29.7	7	15.9	658	43.7
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得よう努めた	213	24.8	100	24.0	27	14.6	3	6.8	343	22.8
P T A や地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	129	15.0	82	19.7	13	7.0	2	4.5	226	15.0
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	131	15.2	77	18.5	9	4.9	1	2.3	218	14.5
その他	16	1.9	5	1.2	2	1.1	3	6.8	26	1.7
学校総数	860		417		185		44		1,506	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2 - 11)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		637	100.0	374	100.0	95	96.0	5	31.3	1,111	98.7
実施頻度	ア 年1回	142	22.3	28	7.5	40	40.4	2	12.5	212	18.8
	イ 年2～3回	455	71.4	266	71.1	55	55.6	3	18.8	779	69.2
	ウ 年4回以上	40	6.3	80	21.4	0	0.0	0	0.0	120	10.7
調査方法	ア 記名式	418	65.6	283	75.7	31	31.3	2	12.5	734	65.2
	イ 無記名式	397	62.3	187	50.0	57	57.6	2	12.5	643	57.1
	ウ 選択式	36	5.7	32	8.6	20	20.2	1	6.3	89	7.9
個別面談の実施		385	60.4	328	87.7	54	54.5	13	81.3	780	69.3
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		214	33.6	159	42.5	1	1.0	3	18.8	377	33.5
家庭訪問		260	40.8	246	65.8	7	7.1	2	12.5	515	45.7
その他		16	2.5	11	2.9	1	1.0	4	25.0	32	2.8
いじめを認知した学校数		637		374		99		16		1,126	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		223	100.0	43	100.0	77	89.5	12	42.9	355	93.4
実施頻度	ア 年1回	66	29.6	7	16.3	55	64.0	10	35.7	138	36.3
	イ 年2～3回	148	66.4	31	72.1	22	25.6	2	7.1	203	53.4
	ウ 年4回以上	9	4.0	5	11.6	0	0.0	0	0.0	14	3.7
調査方法	ア 記名式	129	57.8	24	55.8	23	26.7	1	3.6	177	46.6
	イ 無記名式	109	48.9	22	51.2	55	64.0	10	35.7	196	51.6
	ウ 選択式	20	9.0	2	4.7	4	4.7	1	3.6	27	7.1
個別面談の実施		143	64.1	34	79.1	51	59.3	15	53.6	243	63.9
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		88	39.5	17	39.5	8	9.3	6	21.4	119	31.3
家庭訪問		111	49.8	23	53.5	1	1.2	12	42.9	147	38.7
その他		9	4.0	1	2.3	4	4.7	10	35.7	24	6.3
いじめを認知していない学校数		223		43		86		28		380	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

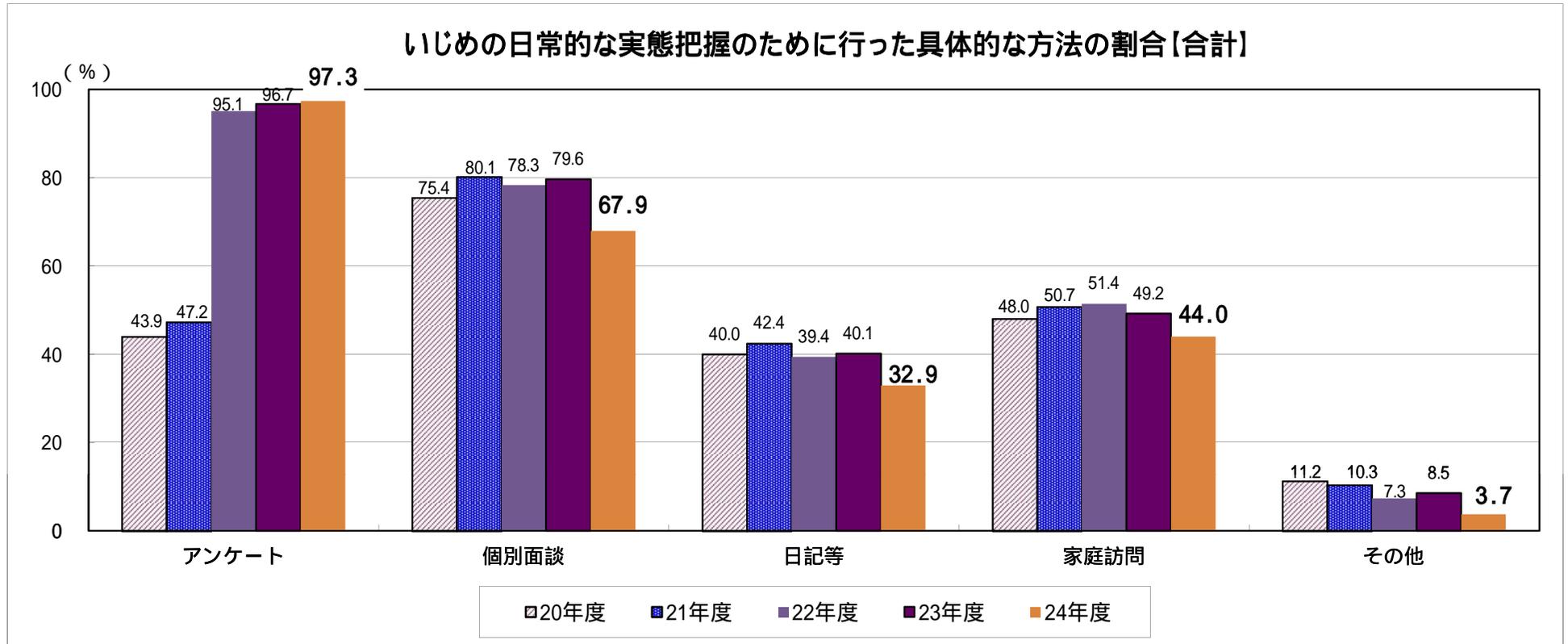
【合計】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		860	100.0	417	100.0	172	93.0	17	38.6	1,466	97.3
実施頻度	ア 年1回	208	24.2	35	8.4	95	51.4	12	27.3	350	23.2
	イ 年2～3回	603	70.1	297	71.2	77	41.6	5	11.4	982	65.2
	ウ 年4回以上	49	5.7	85	20.4	0	0.0	0	0.0	134	8.9
調査方法	ア 記名式	547	63.6	307	73.6	54	29.2	3	6.8	911	60.5
	イ 無記名式	506	58.8	209	50.1	112	60.5	12	27.3	839	55.7
	ウ 選択式	56	6.5	34	8.2	24	13.0	2	4.5	116	7.7
個別面談の実施		528	61.4	362	86.8	105	56.8	28	63.6	1,023	67.9
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		302	35.1	176	42.2	9	4.9	9	20.5	496	32.9
家庭訪問		371	43.1	269	64.5	8	4.3	14	31.8	662	44.0
その他		25	2.9	12	2.9	5	2.7	14	31.8	56	3.7
学校総数		860		417		185		44		1,506	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)

いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法(5カ年推移)[小・中・高・特別支援学校合計]



(2 - 12)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校							中学校				特別支援学校			合計	就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	小学部	中学部	計		
平成24年度	0	0	1	2	4	2	9	6	7	5	18	0	0	0	27	11

3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

(3-1) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	115	153	247	374	459	560	1,908	1,500	2,389	2,757	6,646	8,554

(参考1)

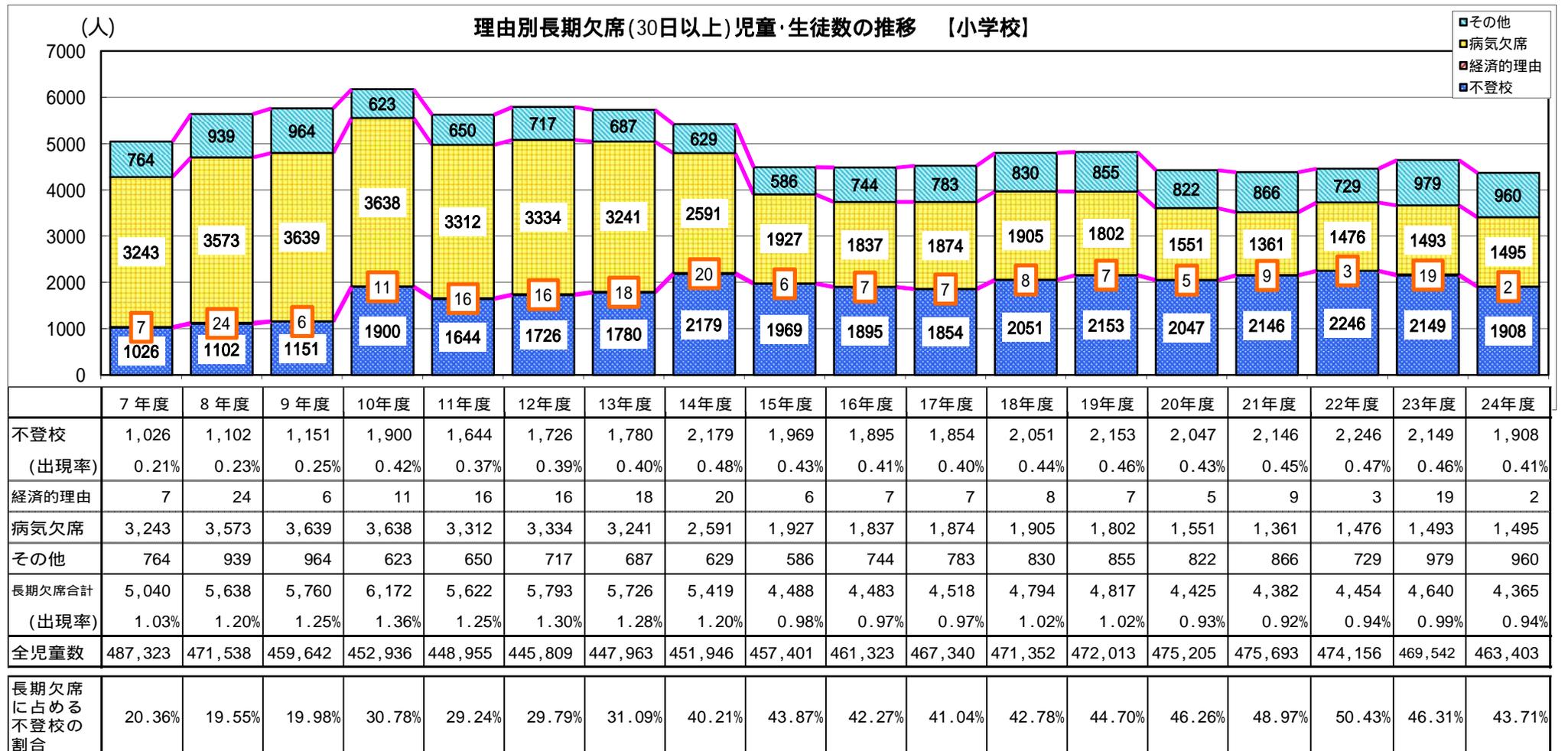
不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数 (人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校 生徒数の 増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児 童・生徒 数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児 童・生徒数 の増減率 (%)
7年度	487,323	1,026	0.21	-	237,307	3,905	1.65	-	724,630	4,931	0.68	-
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	13.5	215,077	6,599	3.07	0.4	664,032	8,243	1.24	3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	9.6	194,953	7,007	3.59	1.6	652,354	8,976	1.38	3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	4.0	678,141	9,819	1.45	2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	1.5	677,288	9,802	1.45	0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	4.3	207,684	7,132	3.43	5.6	677,226	9,281	1.37	5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	11.2	209,568	6,646	3.17	6.8	672,971	8,554	1.27	7.8

(参考2)

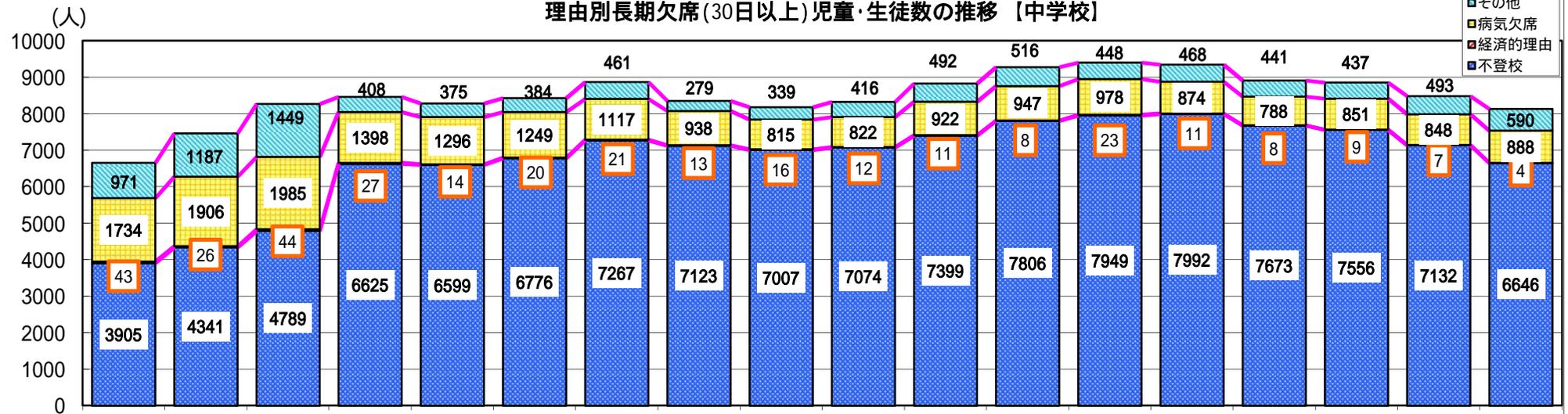
公立小・中学校 理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移 (「学校基本調査」結果より)

【小学校】



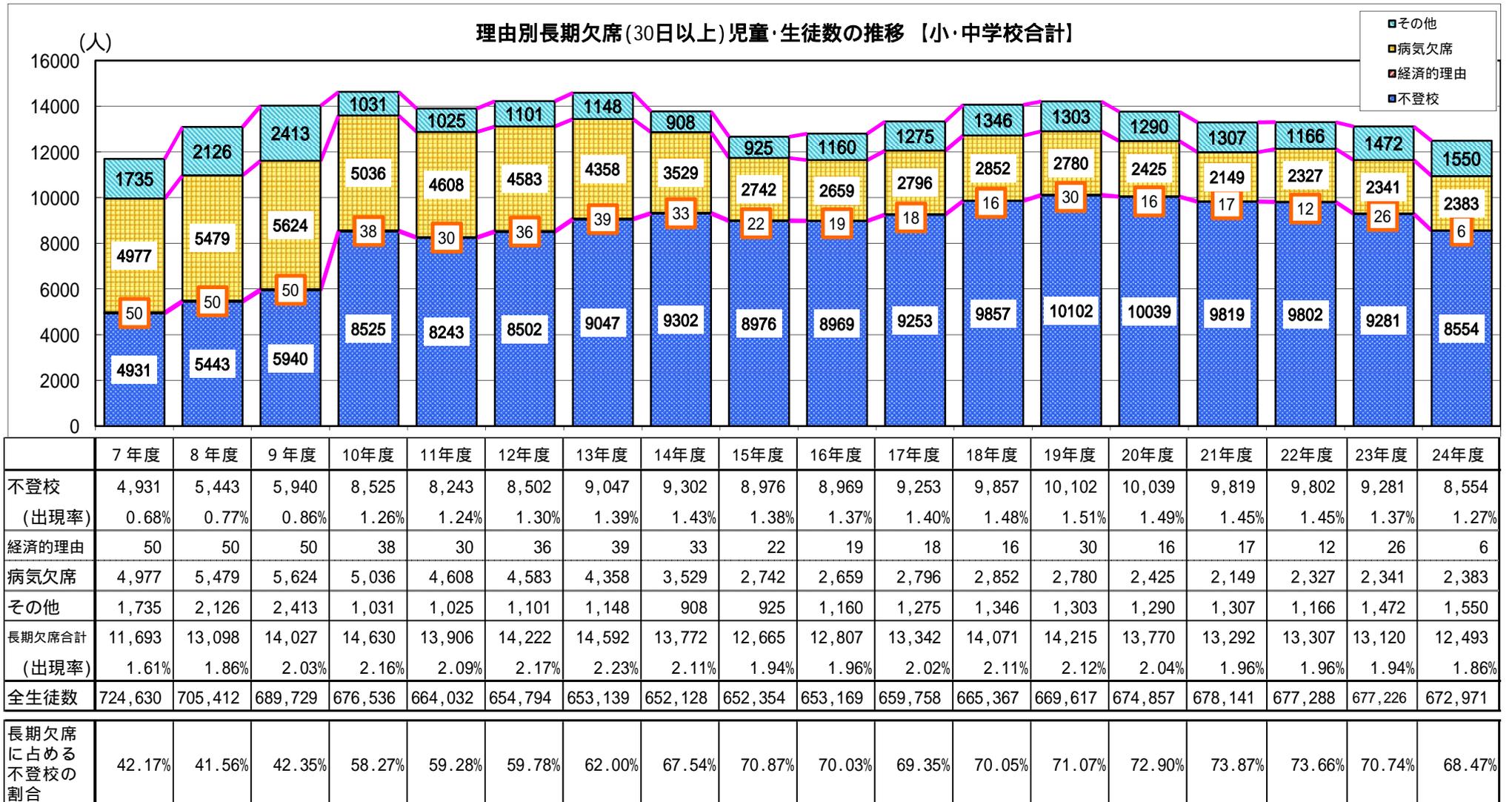
【中学校】

理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移【中学校】



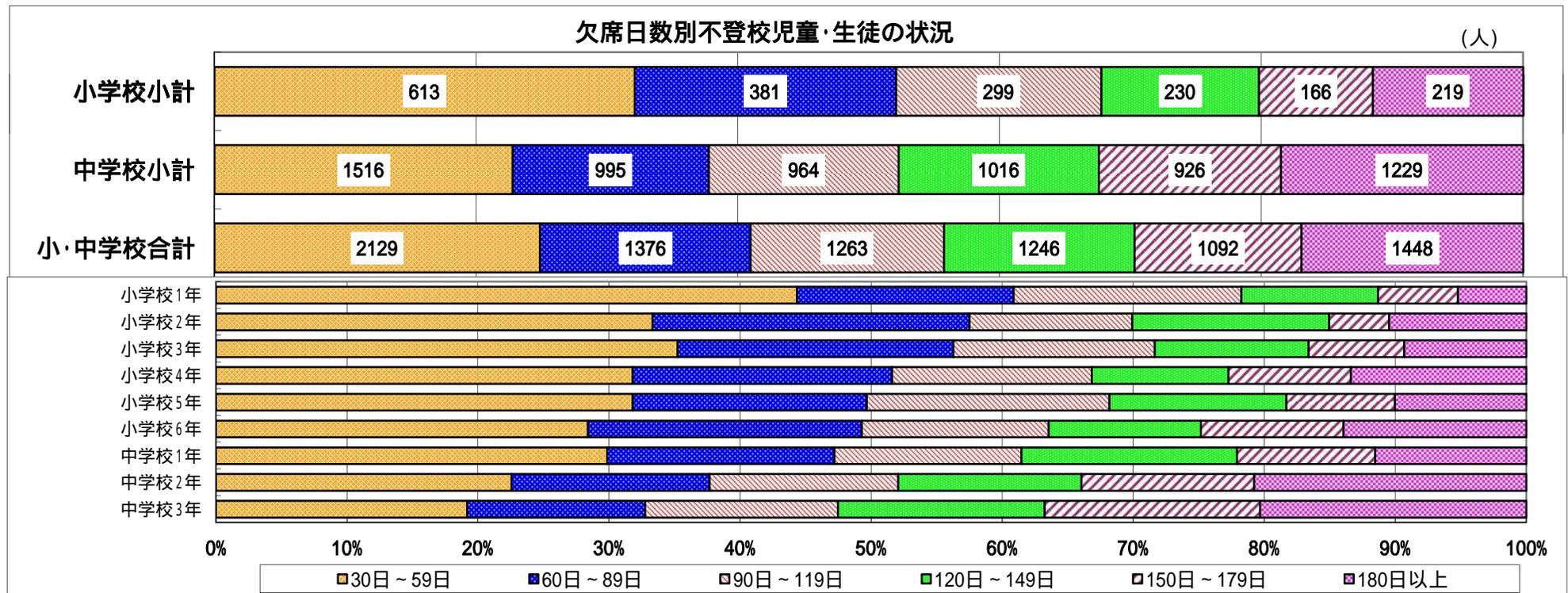
	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
不登校	3,905	4,341	4,789	6,625	6,599	6,776	7,267	7,123	7,007	7,074	7,399	7,806	7,949	7,992	7,673	7,556	7,132	6,646
(出現率)	1.65%	1.86%	2.08%	2.96%	3.07%	3.24%	3.54%	3.56%	3.59%	3.69%	3.85%	4.02%	4.02%	4.00%	3.79%	3.72%	3.43%	3.17%
経済的理由	43	26	44	27	14	20	21	13	16	12	11	8	23	11	8	9	7	4
病欠欠席	1,734	1,906	1,985	1,398	1,296	1,249	1,117	938	815	822	922	947	978	874	788	851	848	888
その他	971	1,187	1,449	408	375	384	461	279	339	416	492	516	448	468	441	437	493	590
長期欠席合計	6,653	7,460	8,267	8,458	8,284	8,429	8,866	8,353	8,177	8,324	8,824	9,277	9,398	9,345	8,910	8,853	8,480	8,128
(出現率)	2.80%	3.19%	3.59%	3.78%	3.85%	4.03%	4.32%	4.17%	4.19%	4.34%	4.59%	4.78%	4.76%	4.68%	4.40%	4.36%	4.08%	3.88%
全生徒数	237,307	233,874	230,087	223,600	215,077	208,985	205,176	200,182	194,953	191,846	192,418	194,015	197,604	199,652	202,448	203,132	207,684	209,568
長期欠席に占める不登校の割合	58.70%	58.19%	57.93%	78.33%	79.66%	80.39%	81.96%	85.27%	85.69%	84.98%	83.85%	84.14%	84.58%	85.52%	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%

【小・中学校合計】



(3 - 2) 欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	不登校児童・生徒数	欠席日数											
			30日～59日		60日～89日		90日～119日		120日～149日		150日～179日		180日以上	
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	115	51	44.3	19	16.5	20	17.4	12	10.4	7	6.1	6	5.2
	2年生	153	51	33.3	37	24.2	19	12.4	23	15.0	7	4.6	16	10.5
	3年生	247	87	35.2	52	21.1	38	15.4	29	11.7	18	7.3	23	9.3
	4年生	374	119	31.8	74	19.8	57	15.2	39	10.4	35	9.4	50	13.4
	5年生	459	146	31.8	82	17.9	85	18.5	62	13.5	38	8.3	46	10.0
	6年生	560	159	28.4	117	20.9	80	14.3	65	11.6	61	10.9	78	13.9
	計	1,908	613	32.1	381	20.0	299	15.7	230	12.1	166	8.7	219	11.5
中学校	1年生	1,500	448	29.9	260	17.3	214	14.3	247	16.5	158	10.5	173	11.5
	2年生	2,389	539	22.6	361	15.1	344	14.4	334	14.0	315	13.2	496	20.8
	3年生	2,757	529	19.2	374	13.6	406	14.7	435	15.8	453	16.4	560	20.3
	計	6,646	1,516	22.8	995	15.0	964	14.5	1,016	15.3	926	13.9	1,229	18.5
合計	合計	8,554	2,129	24.9	1,376	16.1	1,263	14.8	1,246	14.6	1,092	12.8	1,448	16.9



(3-3)不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A×100)
小学校	860	618	71.9
中学校	417	406	97.4
計	1,277	1,024	80.2

(3-4)不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
学校に係る状況	623	32.7	3,056	46.0	3,679	43.0
いじめ	39	2.0	204	3.1	243	2.8
いじめを除く友人関係をめぐる問題	211	11.1	1,259	18.9	1,470	17.2
教職員との関係をめぐる問題	74	3.9	140	2.1	214	2.5
学業の不振	222	11.6	820	12.3	1,042	12.2
進路にかかる不安	13	0.7	95	1.4	108	1.3
クラブ活動、部活動等への不応	0	0.0	166	2.5	166	1.9
学校のきまり等をめぐる問題	16	0.8	169	2.5	185	2.2
入学、転編入学、進級時の不応	48	2.5	203	3.1	251	2.9
家庭に係る状況	887	46.5	1,553	23.4	2,440	28.5
家庭の生活環境の急激な変化	189	9.9	359	5.4	548	6.4
親子関係をめぐる問題	576	30.2	782	11.8	1,358	15.9
家庭内の不和	122	6.4	412	6.2	534	6.2
本人に係る状況	1,667	87.4	5,935	89.3	7,602	88.9
病気による欠席	249	13.1	473	7.1	722	8.4
あそび・非行	18	0.9	933	14.0	951	11.1
無気力	398	20.9	1,971	29.7	2,369	27.7
不安など情緒的混乱	767	40.2	2,033	30.6	2,800	32.7
意図的な拒否	93	4.9	348	5.2	441	5.2
その他本人に関わる問題	142	7.4	177	2.7	319	3.7
その他	148	7.8	74	1.1	222	2.6
不明	45	2.4	194	2.9	239	2.8

不登校児童・生徒数	1,908	6,646	8,554
-----------	-------	-------	-------

(注1)複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(注2)構成比は、各区分における不登校児童・生徒数に対する割合

(3-5)不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	814	42.7	2,471	37.2	3,285	38.4
指導中の児童・生徒	1,094	57.3	4,175	62.8	5,269	61.6
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒	353	18.5	1,536	23.1	1,889	22.1

(3-6)「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒」に特に効果のあった学校の措置

区分	小学校		中学校		計	
	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)
学校内での指導の改善工夫						
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	114	18.4	110	27.1	224	21.9
全ての教師が当該児童・生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	127	20.6	145	35.7	272	26.6
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	84	13.6	88	21.7	172	16.8
養護教諭が専門的に指導にあたった。	100	16.2	109	26.8	209	20.4
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	168	27.2	257	63.3	425	41.5
友人関係を改善するための指導を行った。	127	20.6	137	33.7	264	25.8
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	169	27.3	179	44.1	348	34.0
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	93	15.0	88	21.7	181	17.7
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	143	23.1	115	28.3	258	25.2
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	173	28.0	194	47.8	367	35.8
家庭への働きかけ						
登校を促すため、電話をかけたかたり迎えに行くなどした。	248	40.1	232	57.1	480	46.9
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	179	29.0	248	61.1	427	41.7
保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	159	25.7	159	39.2	318	31.1
他の機関との連携						
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	112	18.1	144	35.5	256	25.0
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	46	7.4	64	15.8	110	10.7
その他	22	3.6	23	5.7	45	4.4

(注1)複数回答を可とする。(各区分の学校数の合計は不登校児童・生徒の在籍学校数の合計とはならない) (注2)割合は、各区分における不登校児童・生徒の在籍する学校数に対する割合

(3 - 7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計					
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	指導要録上出席扱いした学校数(C)	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
～ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	836	180	136	13	2,126	784	233	63	2,962	34.63	964	0.3	369	76
教育支援センター(適応指導教室)	143	67	56	5	707	476	168	28	850	9.94	543	0.6	224	33
教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	354	85	62	0	539	240	90	15	893	10.44	325	0.4	152	15
児童相談所、福祉事務所	197	12	11	3	444	45	36	3	641	7.49	57	0.1	47	6
保健所、精神福祉保健センター	29	1	1	0	29	1	1	0	58	0.68	2	0.0	2	0
病院、診療所	255	12	8	2	491	9	9	4	746	8.72	21	0.0	17	6
民間団体、民間施設	82	31	28	3	131	71	52	12	213	2.49	102	0.5	80	15
上記以外の機関等	32	2	2	0	192	19	15	1	224	2.62	21	0.1	17	1
～ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,072	-	-	-	4,520	-	-	-	5,592	65.37	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けた人数(実数)	913	-	-	-	2,316	-	-	-	3,229	37.75	-	-	-	-
養護教諭による専門的な指導を受けた人数	318	-	-	-	654	-	-	-	972	11.36	-	-	-	-
スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	824	-	-	-	2,056	-	-	-	2,880	33.67	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けていない人数(実数)	995	-	-	-	4,330	-	-	-	5,325	62.25	-	-	-	-
上記 ～ 、 、 による相談・指導等を受けていない人数(実数)	618	-	-	-	3,045	-	-	-	3,663	42.82	-	-	-	-

(注) ～ 、 、 は複数回答を可とする。

(3 - 8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

小学校	中学校	計
180	784	964

(3 - 9) 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	22	58
うち「3 - 8」の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	2	16

(3 - 10)不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
平成24年度不登校児童・生徒数	153	247	374	459	560	1,793	1,500	2,389	2,757	6,646
うち平成23年度から継続	76	130	201	275	358	1,040	603	1,383	1,948	3,934
比率(%)	49.7	52.6	53.7	59.9	63.9	58.0	40.2	57.9	70.7	59.2

(3 - 11)教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	62	47	15.5	256	84.5	303	100.0
計	62	47	15.5	256	84.5	303	100.0

4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

(4 - 1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										
		不登校		経済的理由		病気		その他		計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	123,593	2,173	1.76	28	0.02	569	0.46	870	0.70	3,640	2.95	
内 訳	1 年 生	33,669	356	1.06	4	0.01	104	0.31	103	0.31	567	1.68
	2 年 生	32,181	537	1.67	6	0.02	143	0.44	147	0.46	833	2.59
	3 年 生	32,411	477	1.47	12	0.04	215	0.66	291	0.90	995	3.07
	単 位 制	25,332	803	3.17	6	0.02	107	0.42	329	1.30	1,245	4.91
定 時 制	9,366	2,070	22.10	340	3.63	206	2.20	972	10.38	3,588	38.31	
内 訳	1 年 生	1,523	293	19.24	64	4.20	8	0.53	128	8.40	493	32.37
	2 年 生	1,130	176	15.58	56	4.96	13	1.15	140	12.39	385	34.07
	3 年 生	1,019	135	13.25	80	7.85	17	1.67	97	9.52	329	32.29
	4 年 生	761	109	14.32	32	4.20	6	0.79	72	9.46	219	28.78
	単 位 制	4,933	1,357	27.51	108	2.19	162	3.28	535	10.85	2,162	43.83
計	132,959	4,243	3.19	368	0.28	775	0.58	1,842	1.39	7,228	5.44	
内 訳	1 年 生	35,192	649	1.84	68	0.19	112	0.32	231	0.66	1,060	3.01
	2 年 生	33,311	713	2.14	62	0.19	156	0.47	287	0.86	1,218	3.66
	3 年 生	33,430	612	1.83	92	0.28	232	0.69	388	1.16	1,324	3.96
	4 年 生	761	109	14.32	32	4.20	6	0.79	72	9.46	219	28.78
	単 位 制	30,265	2,160	7.14	114	0.38	269	0.89	864	2.85	3,407	11.26

(注1)在籍者数は、平成24年5月1日現在

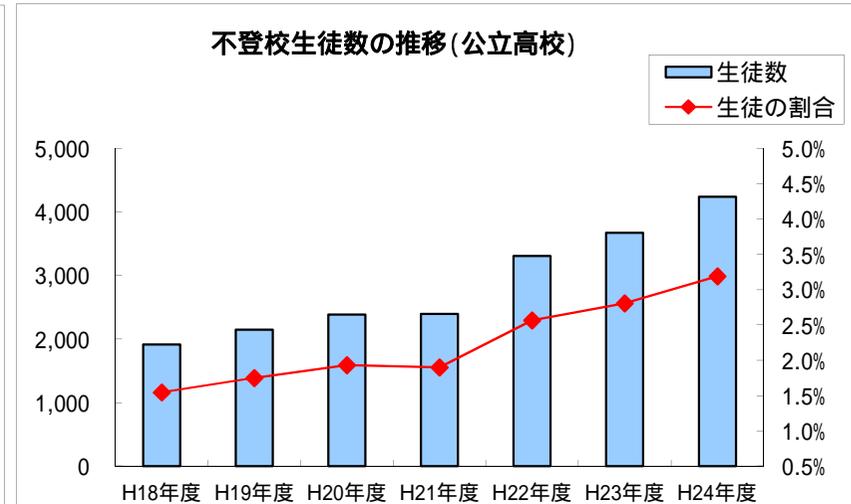
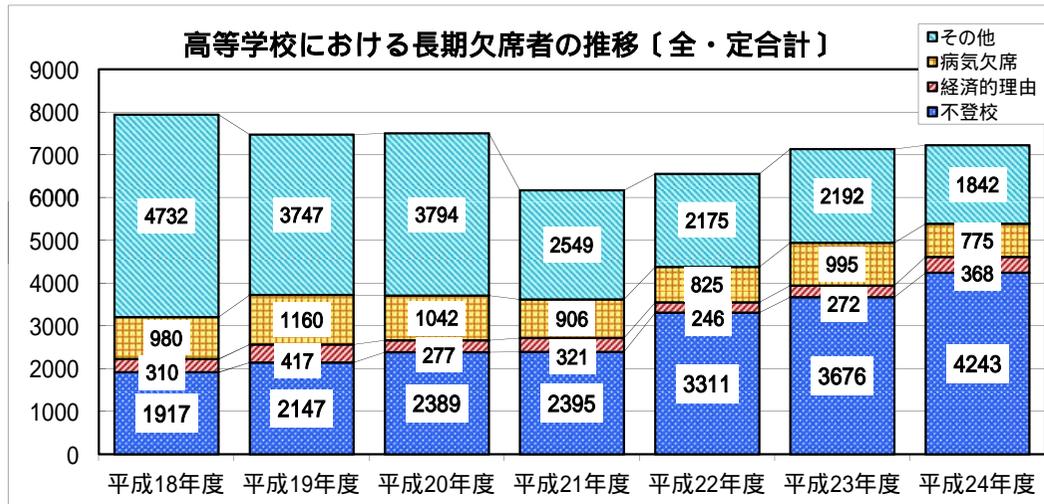
(注2)本調査における「不登校」については、学校基本調査の小中学校における理由別長期欠席者数において、「不登校」(=何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、「病気や「経済的な理由」によるものを除く。))に該当するものを計上している。

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

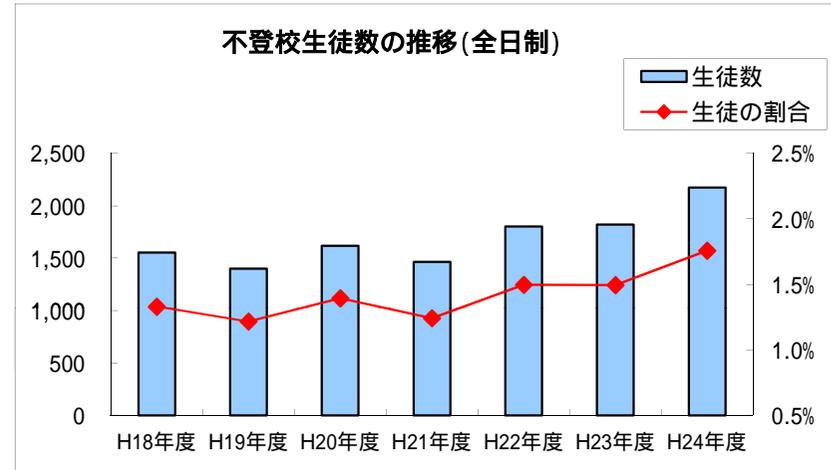
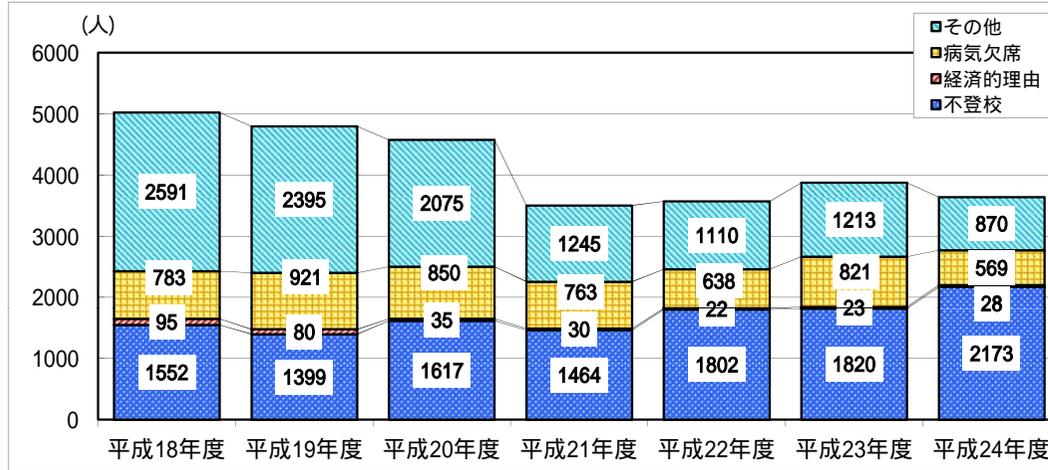
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	123,992	1,917	1.55	0.24	310	0.25	0.07	980	0.79	0.02	4,732	3.82	0.69	7,939	6.40	0.54
19年度	122,709	2,147	1.75	0.20	417	0.34	0.09	1,160	0.95	0.15	3,747	3.05	0.76	7,471	6.09	0.31
20年度	123,763	2,389	1.93	0.18	277	0.22	0.12	1,042	0.84	0.10	3,794	3.07	0.01	7,502	6.06	0.03
21年度	125,938	2,395	1.90	0.03	321	0.25	0.03	906	0.72	0.12	2,549	2.02	1.04	6,171	4.90	1.16
22年度	129,122	3,311	2.56	0.66	246	0.19	0.06	825	0.64	0.08	2,175	1.68	0.34	6,557	5.08	0.18
23年度	130,846	3,676	2.81	0.25	272	0.21	0.02	995	0.76	0.12	2,192	1.68	0.00	7,135	5.45	0.37
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	0.18	1,842	1.39	0.29	7,228	5.44	0.01



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
不登校	1,917	2,147	2,389	2,395	3,311	3,676	4,243
(出現率) <%>	1.55	1.75	1.93	1.90	2.56	2.81	3.19
経済的理由	310	417	277	321	246	272	368
病気	980	1,160	1,042	906	825	995	775
その他	4,732	3,747	3,794	2,549	2,175	2,192	1,842
長期欠席合計	7,939	7,471	7,502	6,171	6,557	7,135	7,228
(出現率) <%>	6.40	6.09	6.06	4.90	5.08	5.45	5.44
全校生徒数	123,992	122,709	123,763	125,938	129,122	130,846	132,959
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	24.15	28.74	31.84	38.81	50.50	51.52	58.70

イ 公立高等学校全日制課程

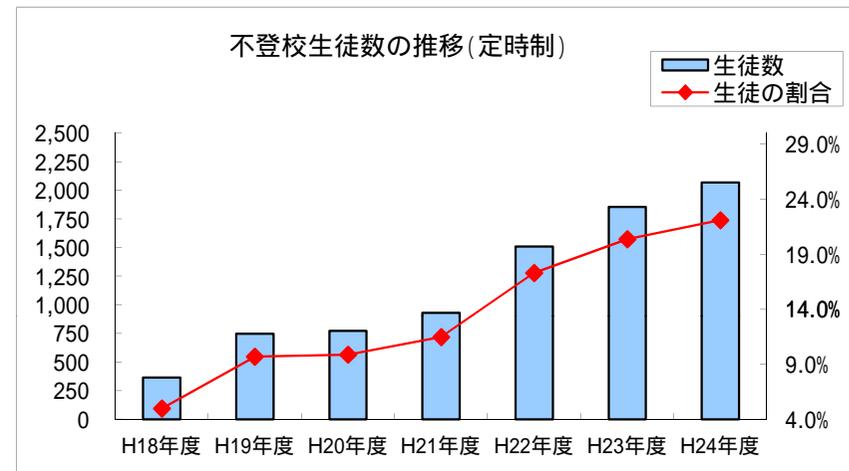
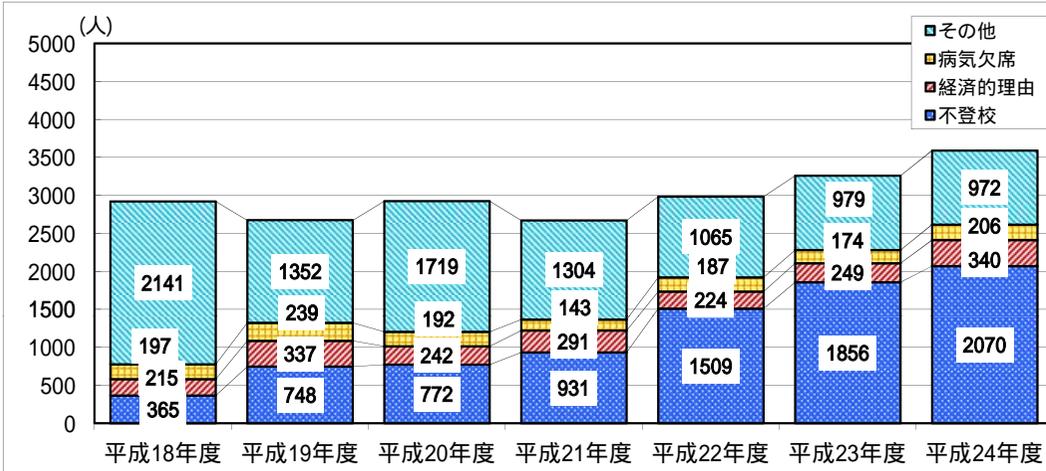
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	116,661	1,552	1.33	0.10	95	0.08	0.04	783	0.67	0.03	2,591	2.22	0.34	5,021	4.30	0.26
19年度	114,986	1,399	1.22	0.11	80	0.07	0.01	921	0.80	0.13	2,395	2.08	0.14	4,795	4.17	0.13
20年度	115,954	1,617	1.39	0.18	35	0.03	0.04	850	0.73	0.07	2,075	1.79	0.29	4,577	3.95	0.22
21年度	117,823	1,464	1.24	0.15	30	0.03	0.00	763	0.65	0.09	1,245	1.06	0.73	3,502	2.97	0.97
22年度	120,396	1,802	1.50	0.25	22	0.02	0.01	638	0.53	0.12	1,110	0.92	0.13	3,572	2.97	0.00
23年度	121,729	1,820	1.50	0.00	23	0.02	0.00	821	0.67	0.14	1,213	1.00	0.08	3,877	3.18	0.21
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	0.21	870	0.70	0.30	3,640	2.95	0.23



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
不登校	1,552	1,399	1,617	1,464	1,802	1,820	2,173
(出現率) <%>	1.33	1.22	1.39	1.24	1.50	1.50	1.76
経済的理由	95	80	35	30	22	23	28
病気	783	921	850	763	638	821	569
その他	2,591	2,395	2,075	1,245	1,110	1,213	870
長期欠席合計	5,021	4,795	4,577	3,502	3,572	3,877	3,640
(出現率) <%>	4.30	4.17	3.95	2.97	2.97	3.18	2.95
全校生徒数	116,661	114,986	115,954	117,823	120,396	121,729	123,593
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	30.91	29.18	35.33	41.80	50.45	46.94	59.70

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)												
18年度	7,331	365	4.98	2.92	215	2.93	0.38	197	2.69	0.76	2,141	29.20	4.86	2,918	39.80	3.08
19年度	7,723	748	9.69	4.71	337	4.36	1.43	239	3.09	0.41	1,352	17.51	11.70	2,676	34.65	5.15
20年度	7,809	772	9.89	0.20	242	3.10	1.26	192	2.46	0.64	1,719	22.01	4.51	2,925	37.46	2.81
21年度	8,115	931	11.47	1.59	291	3.59	0.49	143	1.76	0.70	1,304	16.07	5.94	2,669	32.89	4.57
22年度	8,726	1,509	17.29	5.82	224	2.57	1.02	187	2.14	0.38	1,065	12.20	3.86	2,985	34.21	1.32
23年度	9,117	1,856	20.36	3.07	249	2.73	0.16	174	1.91	0.23	979	10.74	1.46	3,258	35.74	1.53
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	0.36	3,588	38.30	2.56



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
不登校	365	748	772	931	1,509	1,856	2,070
(出現率) < % >	4.98	9.69	9.89	11.47	17.29	20.36	22.10
経済的理由	215	337	242	291	224	249	340
病気	197	239	192	143	187	174	206
その他	2,141	1,352	1,719	1,304	1,065	979	972
長期欠席合計	2,918	2,676	2,925	2,669	2,985	3,258	3,588
(出現率) < % >	39.30	34.65	37.46	32.89	34.21	35.74	38.30
全校生徒数	7,331	7,723	7,809	8,115	8,726	9,117	9,366
長期欠席に占める 不登校の割合 < % >	12.51	27.95	26.39	34.88	50.55	56.97	57.69

(4-2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全 日 制	不登校生徒数	356	-	537	-	477	-	-	-	803	-	2,173	-
	うち 前年度から継続	53	14.9	149	27.7	177	37.1	-	-	322	40.1	701	32.3
	うち その他	79	22.2	9	1.7	0	0.0	-	-	69	8.6	157	7.2
定 時 制	不登校生徒数	293	-	176	-	135	-	109	-	1,357	-	2,070	-
	うち 前年度から継続	94	32.1	90	51.1	73	54.1	53	48.6	786	57.9	1,096	52.9
	うち その他	33	11.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	107	7.9	140	6.8
計	不登校生徒数	649	-	713	-	612	-	109	-	2,160	-	4,243	-
	うち 前年度から継続	147	22.7	239	33.5	250	40.8	53	48.6	1,108	51.3	1,797	42.4
	うち その他	112	17.3	9	1.3	0	0.0	0	0.0	176	8.1	297	7.0

(注1) 構成比は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(注2) 「その他」には、不登校生徒のうち前年度の状況が確認できなかった者を計上

(4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	(%)	生徒数	(%)	生徒数	(%)
不登校生徒数	2,173	-	2,070	-	4,243	-
うち中途退学に至った者	444	20.4	519	25.1	963	22.7
うち原級留置に至った者	147	6.8	214	10.3	361	8.5

(注) 印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4 - 4) 不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	全日制		定時制		計		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
学校に係る状況	837	38.5	669	32.3	1,506	35.5	
内訳	いじめ	4	0.2	3	0.1	7	0.2
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	233	10.7	188	9.1	421	9.9
	教職員との関係をめぐる問題	8	0.4	18	0.9	26	0.6
	学業の不振	247	11.4	257	12.4	504	11.9
	進路にかかる不安	98	4.5	26	1.3	124	2.9
	クラブ活動、部活動等への不適応	38	1.7	4	0.2	42	1.0
	学校のきまり等をめぐる問題	43	2.0	46	2.2	89	2.1
	入学、転編入学、進級時の不適応	166	7.6	127	6.1	293	6.9
家庭に係る状況	318	14.6	250	12.1	568	13.4	
内訳	家庭の生活環境の急激な変化	97	4.5	95	4.6	192	4.5
	親子関係をめぐる問題	157	7.2	102	4.9	259	6.1
	家庭内の不和	64	2.9	53	2.6	117	2.8
本人に係る状況	1,776	81.7	1,767	85.4	3,543	83.5	
内訳	病気による欠席	108	5.0	42	2.0	150	3.5
	あそび・非行	403	18.5	641	31.0	1,044	24.6
	無気力	882	40.6	705	34.1	1,587	37.4
	不安など情緒的混乱	254	11.7	161	7.8	415	9.8
	意図的な拒否	102	4.7	119	5.7	221	5.2
	その他本人に関わる問題	27	1.2	99	4.8	126	3.0
その他	22	1.0	34	1.6	56	1.3	
不明	83	3.8	210	10.1	293	6.9	

不登校生徒数	(全日)	2,173	(定時)	2,070	(計)	4,243
--------	------	-------	------	-------	-----	-------

(注1)複数回答可(複数回答のため、人数の合計は不登校生徒数と合わない)

(注2)パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合(複数回答のため、割合の合計は100%を超える)

(4 - 5) 不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制				(2)定時制				計			
	人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制	
			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	558	25.7	114	14.2	449	21.7	262	19.3	1,007	23.7	376	17.4
指導中の生徒	1,615	74.3	689	85.8	1,621	78.3	1,095	80.7	3,236	76.3	1,784	82.6
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	329	15.1	82	10.2	209	10.1	121	8.9	538	12.7	203	9.4
計	2,173	100.0	803	100.0	2,070	100.0	1,357	100.0	4,243	100.0	2,160	100.0

(4-6)4-5の「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」に特に効果のあった学校の措置

(単位/校)

区分	(1)全日制		(2)定時制	
		うち、単位制		うち、単位制
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	19	3	7	3
全ての教師が当該生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	32	9	10	4
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	18	4	6	2
養護教諭が専門的に指導にあたった。	25	3	9	4
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	42	7	13	6
友人関係を改善するための指導を行った。	21	4	9	5
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	29	8	9	4
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	6	0	6	3
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	15	6	3	1
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	14	1	4	2
登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした。	41	7	14	5
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	25	2	5	1
保護者の協力を求めて、家庭関係や家庭生活の改善を図った。	52	12	10	4
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	17	3	4	1
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	16	4	5	2
その他	4	2	3	3

(注)複数回答を可とする。

(4 - 7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制				定時制				計								
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)		指導要録上出席扱いした人数(B)		(B)/(A)(%)		
	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制	うち 単位制		
学校外	(1) ~ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	265	79	2	2	76	60	0	0	341	139	8.04	3.28	2	2	0.59	0.59
	教育支援センター(適応指導教室)	24	3	0	0	4	2	0	0	28	5	0.66	0.12	0	0	0.00	0.00
	教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	31	10	0	0	3	3	0	0	34	13	0.80	0.31	0	0	0.00	0.00
	児童相談所、福祉事務所	33	15	2	2	16	12	0	0	49	27	1.15	0.64	2	2	4.08	4.08
	保健所、精神福祉保健センター	2	0	0	0	2	1	0	0	4	1	0.09	0.02	0	0	0.00	0.00
	病院、診療所	178	49	0	0	33	22	0	0	211	71	4.97	1.67	0	0	0.00	0.00
	民間団体、民間施設	21	7	0	0	6	5	0	0	27	12	0.64	0.28	0	0	0.00	0.00
	上記以外の機関等	12	5	0	0	20	19	0	0	32	24	0.75	0.57	0	0	0.00	0.00
(2) ~ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,723	662	-	-	1,716	1,047	-	-	3,439	1,709	81.05	40.28	-	-	-	-	
(3) 不明(実数)	185	62	-	-	278	250	-	-	463	312	10.91	7.35	-	-	-	-	
(4) (1)~(3)の合計	2,173	803	-	-	2,070	1,357	-	-	4,243	2,160	100.00	50.91	-	-	-	-	
学校内	(5) ~ による相談・指導等を受けた人数(実数)	573	155	-	-	232	135	-	-	805	290	18.97	6.83	-	-	-	-
	養護教諭による専門的な指導を受けた人数	415	109	-	-	174	94	-	-	589	203	13.88	4.78	-	-	-	-
	スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	346	95	-	-	71	44	-	-	417	139	9.83	3.28	-	-	-	-
	(6) ~ による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,600	648	-	-	1,838	1,222	-	-	3,438	1,870	81.02	44.07	-	-	-	-
(7) (5)~(6)の合計	2,173	803	-	-	2,070	1,357	-	-	4,243	2,160	100.00	50.91	-	-	-	-	
(8) 上記 ~ , ~ による相談・指導等を受けていない人数	1,548	596	-	-	1,386	546	-	-	2,934	1,142	69.14	26.91	-	-	-	-	

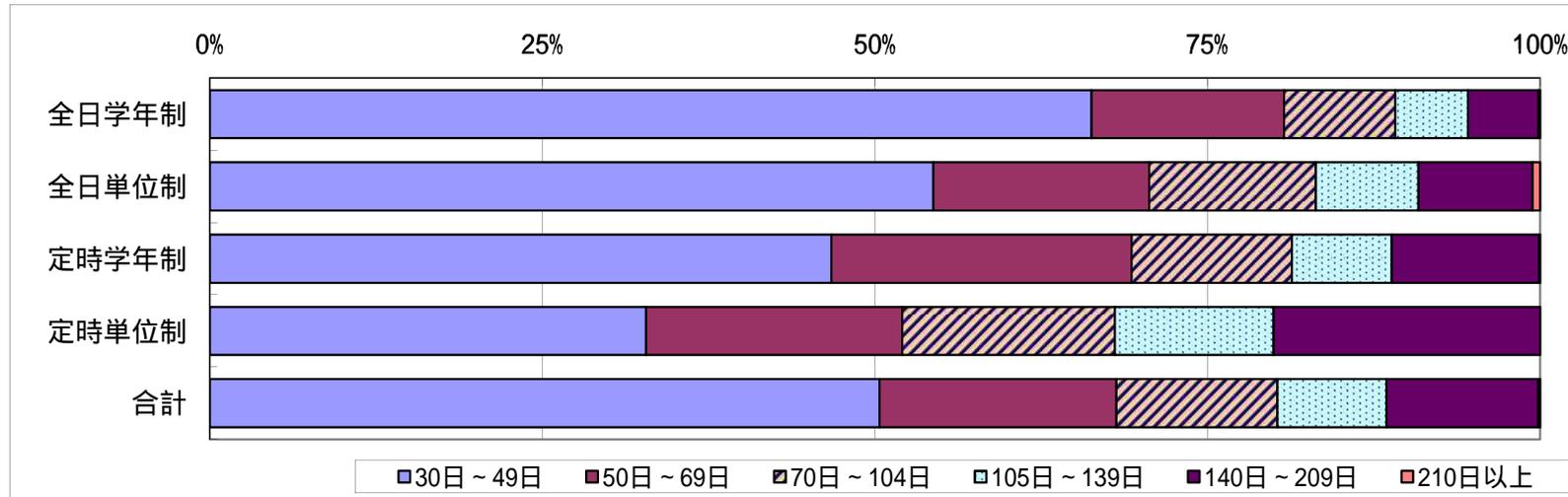
(注1) ~ 、 、 は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4 - 8) 欠席日数別長期欠席生徒の状況

区分	長期欠席生徒数	欠席日数											
		30日～49日		50日～69日		70日～104日		105日～139日		140日～209日		210日以上	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全日制	3,640	2,264	62.20	549	15.08	356	9.78	227	6.24	234	6.43	10	0.27
内訳													
1年生	567	297	52.38	96	16.93	74	13.05	54	9.52	44	7.76	2	0.35
2年生	833	507	60.86	133	15.97	86	10.32	47	5.64	60	7.20	0	0.00
3年生	995	783	78.69	118	11.86	40	4.02	30	3.02	23	2.31	1	0.10
単位制	1,245	677	54.38	202	16.22	156	12.53	96	7.71	107	8.59	7	0.56
定時制	3,588	1,357	37.82	738	20.57	518	14.44	365	10.17	591	16.47	1	0.03
内訳													
1年生	493	182	36.92	92	18.66	80	16.23	52	10.55	87	17.65	0	0.00
2年生	385	193	50.13	90	23.38	34	8.83	28	7.27	40	10.39	0	0.00
3年生	329	176	53.50	79	24.01	32	9.73	20	6.08	21	6.38	1	0.30
4年生	219	115	52.51	61	27.85	26	11.87	7	3.20	10	4.57	0	0.00
単位制	2,162	709	32.79	416	19.24	346	16.00	258	11.93	433	20.03	0	0.00
計	7,228	3,639	50.35	1,287	17.81	874	12.09	592	8.19	825	11.41	11	0.15
内訳													
1年生	1,060	479	45.19	188	17.74	154	14.53	106	10.00	131	12.36	2	0.19
2年生	1,218	700	57.47	223	18.31	120	9.85	75	6.16	100	8.21	0	0.00
3年生	1,324	959	72.43	197	14.88	72	5.44	50	3.78	44	3.32	2	0.15
4年生	219	115	52.51	61	27.85	26	11.87	7	3.20	10	4.57	0	0.00
単位制	3,407	1,386	40.68	618	18.14	502	14.73	354	10.39	540	15.85	7	0.21

(注)パーセンテージは、各区分における長期欠席生徒数に対する割合



5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

(5 - 1) 課程・学年別中途退学者数

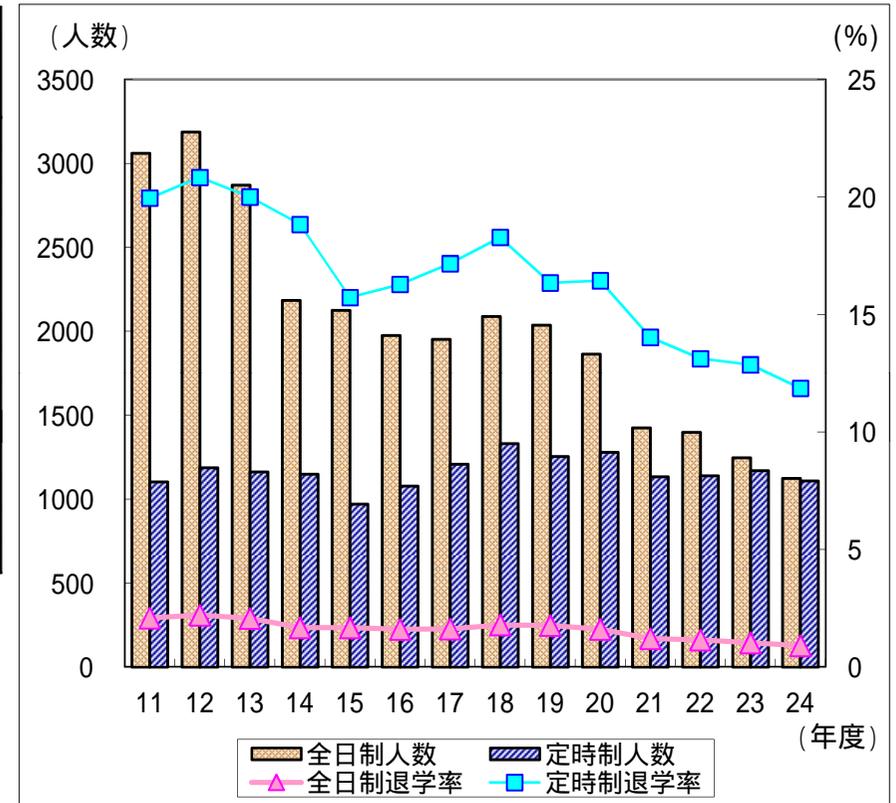
区分	全日制					定時制						合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	
中途退学者数	330	371	107	317	1,125	352	140	63	20	534	1,109	2,234

(参考)

中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制		
	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)
平成11年度	3,061	2.09	0.18	1,104	19.95	0.63
平成12年度	3,188	2.21	0.12	1,187	20.83	0.88
平成13年度	2,871	2.07	0.14	1,162	20.00	0.83
平成14年度	2,185	1.67	0.40	1,150	18.83	1.17
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	3.11
平成16年度	1,976	1.60	0.07	1,078	16.28	0.56
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12
平成19年度	2,036	1.77	0.02	1,255	16.34	1.94
平成20年度	1,865	1.61	0.16	1,279	16.44	0.10
平成21年度	1,426	1.21	0.40	1,134	14.03	2.41
平成22年度	1,398	1.16	0.05	1,139	13.12	0.91
平成23年度	1,247	1.03	0.13	1,169	12.85	0.27
平成24年度	1,125	0.91	0.12	1,109	11.86	0.99

(注)中途退学率は、平成24年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合



(5-2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	
学業不振	78	6.9	24	2.2	
学校生活・学業不適応	431	38.3	398	35.9	
もともと高校生活に熱意がない	109	9.7	197	17.8	
授業に興味がない	119	10.6	91	8.2	
人間関係がうまく保てない	67	6.0	47	4.2	
学校の雰囲気が合わない	40	3.6	22	2.0	
その他	96	8.5	41	3.7	
進路変更	486	43.2	377	34.0	
別の高校への入学を希望	109	9.7	58	5.2	
専修・各種学校への入学を希望	13	1.2	14	1.3	
就職を希望	149	13.2	198	17.9	
高卒程度認定試験を受験希望	83	7.4	13	1.2	
その他	132	11.7	94	8.5	
病気・けが・死亡	42	3.7	20	1.8	
経済的理由	2	0.2	14	1.3	
家庭の事情	47	4.2	105	9.5	
問題行動等	16	1.4	18	1.6	
その他の理由	23	2.0	153	13.8	
定時制のみ	仕事の多忙	-	-	101	9.1
	勤務先の事情	-	-	16	1.4
	その他	23	2.0	36	3.2
中途退学者数	1,125	100.0	1,109	100.0	

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(5-3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
授業料減免を受けていた者	0	0.0	1	7.1
奨学金の貸与を受けていた者	1	50.0	0	0.0
授業料の滞納があった者	0	0.0	2	14.3
上記のいずれかにも該当しない者	1	50.0	11	78.6
経済的理由による中途退学者数	2	100.0	14	100.0

(注1) ~ については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1 年 生	229	0.79	101	2.19	-	-	352	23.05	682	1.94
2 年 生	284	1.03	87	1.95	-	-	140	12.56	511	1.54
3 年 生	92	0.33	15	0.35	-	-	63	6.26	170	0.51
4 年 生	-	-	-	-	-	-	20	2.64	20	2.64
単 位 制	149	1.27	33	0.87	135	1.38	534	10.80	851	2.81
合 計	754	0.78	236	1.38	135	1.38	1,109	11.86	2,234	1.68

(注)割合は、平成24年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1 年 生	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
2 年 生	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3 年 生	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
4 年 生	-	-	-	-	-	-	0	0.00	0	0.00
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

区分	全日制						定時制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)				
1 年 生	85	0.29	27	0.59	0	-	78	5.11	190	0.54
2 年 生	62	0.22	18	0.40	0	-	47	4.22	127	0.38
3 年 生	16	0.06	9	0.21	0	-	41	4.07	66	0.20
4 年 生	-	-	-	-	-	-	14	1.84	14	1.84
単 位 制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	163	0.19	54	0.40	0	-	180	4.08	397	0.39

(注1)原級留置者とは、平成24年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、平成24年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	0	0	0	0
2 年 生	0	0	0	8	0	8
3 年 生	0	0	0	7	0	7
4 年 生	-	-	-	1	0	1
単 位 制	1	0	0	3	10	14
合計	1	0	0	19	10	30

(注)再入学者とは、平成24年度以前に高等学校を退学した者で、退学したとき同一の学校の同一課程・学科に平成24年度中に入学した者をいう。

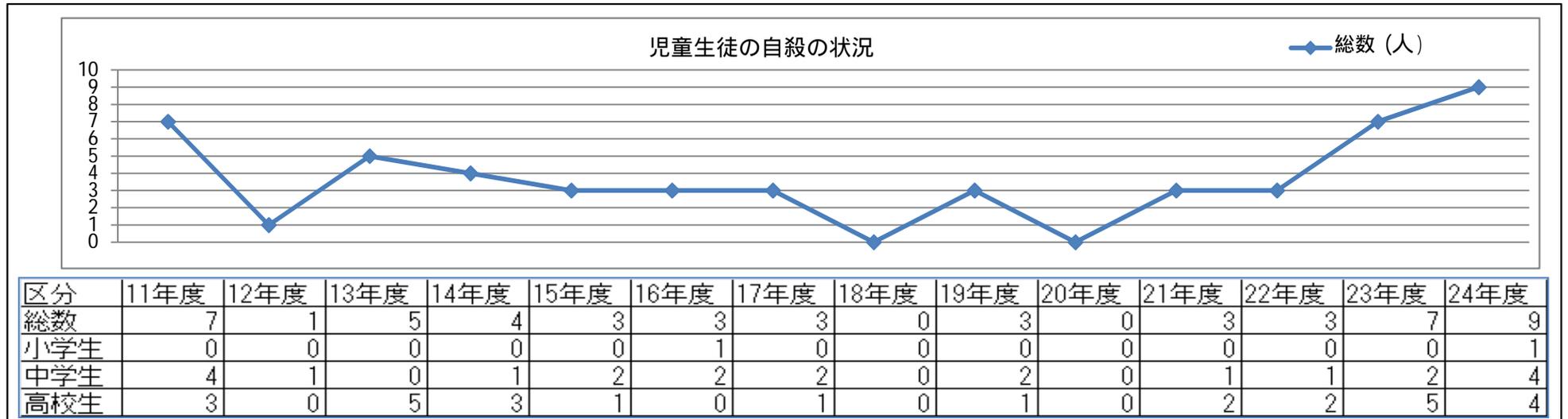
(5 - 8) 編入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	1	0	0	0	0	1
2 年 生	0	0	0	16	0	16
3 年 生	0	0	0	12	0	12
4 年 生	-	-	-	1	0	1
単 位 制	27	0	0	9	154	190
合計	28	0	0	38	154	220

(注)編入学者とは、平成24年度以前に高等学校を退学した者で、いずれかの高等学校に平成24年度中に入学した者の中から、「(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数」を除いた者をいう。

6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

(6-1) 児童・生徒の自殺の状況



(6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学生				高校生			合計	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生		計
男子	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1	3
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	2	1	3	6
計	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	4	0	2	2	4	9

(6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	0	0.0	1	25.0	1	25.0	2	22.2
父母等のしっ責	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学業不振	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
教職員との関係での悩み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
厭世	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	11.1
異性問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	1	100.0	3	75.0	3	75.0	7	77.8
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注1)複数回答を可とする。(注2)構成比は、各区分における自殺した児童・生徒数に対する割合。

7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
平成24年度	0	0	0

(7-2)出席停止の学年別・男女別件数

区分	学年別件数											合計	
	小学校							中学校					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計		
平成24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

男女別件数			
区分	小学校	中学校	計
男子	0	0	0
女子	0	0	0

(7-3)出席停止の期間別件数

区分	1~3日	4~6日	7~13日	14~20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

(7-4)出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

(8-1) 県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・教育研究所	2	30 (15.0)	52 (26.0)	82 (41.0)
教育相談所・相談室	6	14 (2.3)	130 (21.7)	144 (24.0)

(注1)()内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

(8-2) 県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
教育センター・教育研究所	1,569	2,651	7	0	4,227
教育相談所・相談室	1,592	2,225	114	10,599	14,530
計	3,161	4,876	121	10,599	18,757

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-3) 県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・教育研究所での来所教育相談件数(A)	347	364	67	791	1,569
教育相談所・相談室での来所教育相談件数(B)	647	677	216	52	1,592
来所教育相談総件数(AとBの合計)	994	1,041	283	843	3,161
うち、いじめに関する教育相談件数	28	12	10	20	70
うち、不登校に関する教育相談件数	511	831	211	800	2,353

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計	
教育相談件数	電話相談	1,291	1,429	902	1,254	4,876	
	訪問相談	38	62	2	19	121	
	巡回相談	5,975	3,755	714	155	10,599	
内数	いじめに関する相談	電話相談	479	428	234	558	1,699
		訪問相談	1	1	0	0	2
		巡回相談	46	37	1	0	84
	不登校に関する相談	電話相談	232	432	436	259	1,359
		訪問相談	31	45	2	19	97
		巡回相談	1,201	1,992	4	0	3,197

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	51
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(任)	24	135	159
構成比(%)	15.1	84.9	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	0.5	2.6	3.1

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
件数(件)	18,582	10,176	3,385	2,829	34,972

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。